

町づくり グループミーティング

◆開催日時 11月16日(火) 午後6時～午後7時45分
◆開催場所 役場2階 第1・2委員会室
◆参加者 <青い鳥保育園父母と先生の会>
島川園長、黄金崎和歌子さん、
山本千佳さん、今美奈さん、
兵藤剛さん、兵藤友子さん

住みよいまちづくりへの取り組みについて話し合う「町づくりグループミーティング」が11月16日、役場2階第1・2委員会室を会場に、青い鳥保育園父母と先生の会役員と吉田町長が参加して行われ、子育て環境や医療体制、学校教育などをテーマに意見を交わしました。

参加者からの、インフルエンザ等予防接種費用の助成拡充や医療体制の整備、スクールバスの有効活用などの提言に吉田町長は、「子どもたちが将来とも深浦町に住み続けたいと思ってもらえるようなまちづくりは大切で、そのためにも、若い方々の雇用創出と子育て環境改善は重要な政策であり、みなさんのご意見・ご要望に応えられるように取り組みたい」と語りました。



町づくりグループミーティング

健康 万歩計

健康万歩計は、西津軽郡医師会（つがる市・鰺ヶ沢町・深浦町）が、みなさんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター
菅藤 啓 先生
西つがる医師会会員
（尾野病院・院長）



冬を迎えて 子供の病気110番

1) 子供の発熱

子供さんが熱を出しますと、みんな心配しますね。原因が風邪ですと、熱が40℃近くあっても、ケロッとして遊んでいることが多いです。表情が普段と変わらず、周りをキョロキョロ見ているようであれば、ご飯や水分がきちんととれているようでしたら、通常、なんの心配もないことが多いです。熱さましは必ずしも必要ありません。小児専門医ほど、熱さましは使わないものです。風邪の熱は熱さましを使わなくとも、1～2日で下がるものです。熱が高いために脳がダメになってしまう、ということはありません。元の病気が問題なわけです。注意する点は、熱が2日たっても下がらない場合、機嫌が悪く食べたり飲んだりしづらな場合、おしっこが出にくくなる場合、体を動かすと嫌がったりくずる場合、は熱の高さではなく原因である元の病気が重い可能性がありますので、受診することが勧められます。生後6か月から1歳前後までの乳児で熱が3日くらい続いて、急に下がったとたん体中に発疹が出る、突発性発疹という病気もありますが、これは機嫌が悪くなく特に治療の薬も必要としません。また生後6か月未満の乳児、新生児が熱を出す原因として、風邪は通常ありえませんが、特にミルクの飲みが悪かったり機嫌が悪い、うつらうつらしている、というときは要注意です。熱があっても風邪のような軽い病気で機嫌が良ければ、お風呂に短時間入ることは、何ら問題ありません。むしろ肌を守り熱を下げやすくします。

2) 子供の下痢

子供さんの下痢の場合、注意点は3つです。下痢していても一日の回数が10回以下であれば通常心配いりません。ただ下痢が続く時、かえって食事をとらないほうが早く治ります。また牛乳、ミルクもやめたほうが早く治ります。食べたくとも、心を鬼にして食べさせないほうがいいです。ジュース、イオン飲料はかまいません。下痢止め、整腸剤はあまり効果ありませんし、美味しくありません。むしろ乳酸菌飲料のほうが美味しくして下痢を止めやすいです。食事をやめずと通常1日で下痢はおさまります。

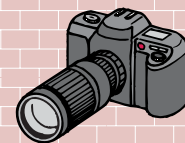
お尻が荒れやすくなりますので、下痢しているときは特にお風呂に入ることが大切です。下痢に少量の血が混じることがありますが、機嫌が悪くなければ心配ありません。何回も血が混じり機嫌が悪い時は、細菌性の下痢や腸重積等違う病気がありますので、受診をお勧めします。冬場はノロウイルスやロタウイルス、夏場はアデノウイルス等が原因となることが多いですが、根本的に治療の手段がありませんので、水分中心にして治るのを待つのが原則となります。

3) 子供の嘔吐

子供さんが吐く場合、続けて吐くとき、水分を飲んででも吐くときは、まず食べたり飲んだりすることを一切中止します。3～4時間お腹を空っぽにした後、30mlくらいの少量の白湯、ジュース、イオン飲料、お茶を飲ませて、吐かなければ1時間おきに頻回に繰り返します。飴玉を舐めることが出来たら、それでも結構です。丸一日たったらご飯を食べさせます。お粥でなくとも結構です。おしっこが出ない時、吐いた物に血液や黄色、緑のものが混じるとき、水分を飲んででも何回も吐くときは受診をお勧めします。吐き気止めは胃腸が麻痺しているときは有効ですが、胃腸の動きが活発であるときは逆効果となりますので自己判断では使わないほうがいいです。

4) その他

咳、湿疹、ゼーゼー、と冬を迎えて子供さんの心配は尽きませんが、しかし原則は簡単で、何が原因であっても、顔の表情が良く、元気で機嫌が良ければ、また食欲があり水分がきちんととれ、夜眠れて、おしっこがちゃんと出ていまずと何ら心配なく、慌てることはありません。加えて呼吸回数が普段より速くないか、脈がいつもより速くないか、おしっこの色がいつもより濃くないか、まで観察できましたら、もう皆さんは名医の仲間入りです。



まちかど ウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2111 (内237)



ロープを海に沈める

地元の自然の素晴らしさを体験する深浦マリンスポーツの子どもたちが、北金ヶ沢漁港の沖合で、フカメ養殖を体験しました。子どもたちは、フカメの種苗がついた紐をロープの隙間に挟み込む作業から開始。その後、漁師さんの指導のもと漁船に乗り込み、沖にある海洋牧場にロープを沈め、フカメの成長を願っていました。子どもたちは漁業体験をすることで、自然を相手にする仕事の大変さや食べ物に対する感謝の気持ちを実感したようでした。なお、フカメは3月に収穫予定とのこと。

フカメ養殖を体験

この調査は、町内の遊休農地の実態把握と発生防止・解消対策に役立てられるもの。地区担当農業委員と地区調査員の協力により現状調査が行なわれ、その結果は、今後の遊休農地の解消活動などに反映されることとなります。また、これと併せて、農業委員全員による合同農地パトロールも実施。重点地域の遊休農地の把握、農地法許可案件の履行状況の調査等が精力的に行なわれました。

10月4日から19日までの期間中、町内全域を対象に地区別農地利用状況調査が行なわれました。



地区別農地利用状況調査の様子（晴山地区）

遊休農地の解消を



AEDの使用手順を学ぶ

白神・十二湖で活躍するガイドを対象にした救命講習会が、11月17日、十二湖エコ・ミュージアムで開催され、万が一の事態に備えました。講習では深浦消防署の指導により、心肺蘇生法やAEDの使用手順などを学習。参加者からは「心臓マッサージは傾斜地を避けたほうがいいのか」「手の位置はここでもいいのか」など質問が寄せられました。また、自分たちが遭遇した状況を例に出して対処法を相談。観光客を安全に案内するために、熱心に取り組みしました。

万が一のために 救命講習

優勝
準優勝
第3位
優勝
ミッツ・マングローブ
マスキ・デラックス

参加した4チームが熱戦を繰り広げた結果、優勝したのは「ともちゃんず☆」チーム。チームワークの良さや安定した攻守で順調に勝ち星を積み重ね、6戦全勝の成績でした。なお、大会結果は次のとおり。



優勝した「ともちゃんず☆」

町民ナイター バレーボール大会